

提出議案をすべて可決し、

議長・副議長をはじめとする新たな議会人事を決定

議会からの請求により、第1回臨時会が4月26日に開催され、「西武鉄道5路線廃止に反対し継続運行を求める意見書・決議」のほか議員提出議案等3件、市長提出議案1件を可決しました。

平成25年第2回定例会は、5月9日から5月31日までの23日間の会期で開催され、委員会提出議案1件、市長提出議案11件を可決し、議長・副議長選挙や各委員会の委員選任等を行い、議会の新たな人事を決定しました。(8頁に掲載)



お鷹の道・真姿の池 湧水群

24年度の赤字を補填する国民健康保険特別会計補正予算を賛成多数で可決

議案第59号 25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)は、今年度予算を増額し、その一部を充用して24年度赤字見込額7億5千万円を補填するというものです。

委員会では、以下のような質疑・討論が行われ、賛成多数で可決されました。

また本会議では、本案の内容を組み替えることを求める動議が提出されましたが賛成少数で否決され、本案を賛成多数で可決しました。

主な質疑の要旨

- 問) 保険給付費抑制の具体的な取り組みは?
答) 健康診断受診の勧奨やジェネリック医薬品の推奨等に努める。
- 問) 今後の国保運営協議会への諮問は?
答) 新市長のもとで8月に諮問する予定。
- 問) 4年連続赤字は市長の責務を果たしていない。国保運営協議会の答申どおり、赤字補填は一般会計の繰出金の増額で対応すべき。
答) 一般会計の繰出金を増額するには赤字地方債による財源確保が必要であり、このような財政運営は適切でない。

討論の要旨

反対) 国保税を値上げする一方で繰入金を減少させていることが赤字の原因だ。次期市政に赤字を繰り越すことには反対する。

賛成) 繰入金をさらに増額することは、他の医療保険に加入している市民の理解を得られるものでない。今回の充用での対応はやむを得ぬ措置と判断し賛成する。

学校のエアコン設置、予防接種関係経費を含む、一般会計補正予算を賛成多数で可決

議案第58号 25年度一般会計補正予算(第1号)は、小中学校の学級増に伴うエアコン借上料の計上、日本脳炎予防接種の勧奨再開、子宮頸がん・小児肺炎球菌・ヒブワクチン予防接種の定期接種化及び風疹予防接種補助の実施に伴い、予算総額を4,456万円増額するというものです。

本案は、補正予算審査特別委員会(及川妙子委員長、中山ごう副委員長)で審査され、以下のような質疑が行われ、賛成多数で可決されました。また本会議においても、以下の討論が行われ、賛成多数で可決しました。

主な質疑の要旨

問) 小中学校エアコンの増設を、購入でなくリ

ースとした理由は?

答) 購入費+保守点検費用と10年間のリース費用とを比較し、リースとした。

問) 風疹予防接種補助実施の周知方法は?

答) チラシの関係課への配架や市報・ホームページ・安全安心メールで広報している。

問) 子宮頸がん予防接種定期化に伴って医師に副反応の報告義務が課せられたが、その周知は? 接種時の医師からの副反応の説明は?

答) 医療機関の説明会で副反応の報告義務の説明を行った。医師からの副反応の説明については、委託契約で説明義務を謳っている。

問) 予防接種による健康被害に対する補償は?

答) 市の負担はあるものの、予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度での補償となる。

討論の要旨

反対) 本案には、子宮頸がんワクチン予防接種の定期接種化に伴う予算の増額が含まれるが、この予防接種に関しては深刻な副反応事例があるなど、その安全性、有効性、必要性に疑問を持つ。よって、苦渋の決断だが反対する。

反対) 本案には、一般会計から国保会計への繰入金計上されていないことから反対する。

国分寺市議会議長 新海 栄一

このたび、議会の皆様のご推挙をいただきまして議長という重責を担うことになりました。激動する昨今の経済・社会情勢に対処できるよう柔軟な思考をもって、公平、公正な議会運営に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、長年の懸案でありました国分寺駅北口再開発事業につきましては、地域の皆様のご協力により権利変換が終了し、6月には再開発ビルの建築を行う特定建築者も決定致しました。

市財政は依然として厳しい状況にあります。市議会と致しましても、今後一層の行財政改革を進め、福祉、教育、環境、防災・防犯対策、商工業の発展など、山積する諸課題に対し、市民の皆様の声が十分反映できる市政運営が行われるようその責任を果たしてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



就任にあたって

国分寺市議会副議長 皆川 りうこ

このたび、議会の選出により副議長に就任することになりました。責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

地方分権の推進により、市の主体的判断の範囲拡大と議会の役割も大きくなっています。国から市への権限委譲が進む一方、財源が不十分といった厳しい財政状況下で、市は財政健全化への取り組みや国分寺駅北口再開発に伴う周辺まちづくり、ごみ焼却施設、未来を担う子どもの施策、高齢者福祉等の諸課題を抱えています。

そのような中、議会としては政策提案や行政の監視機能を十分に発揮し、執行機関との真摯な議論により、課題解決に向けて全力を尽くすことが議会の役割であり責任であると思います。

議長を補佐する役割として民主的で公平、公正な議会運営、議会改革の推進に努め市民の皆様に一層信頼される議会を目指して参ります。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

